

伝統食品と伝統工芸品を組み合わせた ふるさと納税の返礼品をプロデュース

岡山県立勝山高等学校蒜山校地
NeoTrad(ネオトラッド)

NeoTrad

～伝統をより良く、未来的な『新しさ』へ～

勝山高等学校 蒜山校地 塚本みゆ



高校生だからこそできる 地域との関わり方

伝統食品 × 伝統工芸品

ふるさと納税返礼品



11-3

包摂的で持続可能な地域づくり



12-b

持続可能な観光の促進

う お う お ハンバーグ



持続可能性が課題

地域に継続的な関わりをつくる



合同会社 蒜山耕藝
高谷裕治・絵里香

https://agri.mynavi.jp/mountainousarea-management-training/chu_shikoku/



郷原漆器 継承者
ディロング・デービッド

<https://www.maniwa.or.jp/web/?c=spot-2&pk=3105>

高校生という存在は
「あざとい」

大人同士では生まれにくい
新しい関係性をつくれなにか？

人と人、地域と地域をつなぐ
リレーションを生み出すこと

母の実家で作っている “どぶろく” もどき



母の実家で作っている “どぶろく” もどき



「伝統的な食文化を学び、自分の手で形にしてみたい」

蒜山の伝統的な食文化



おおみ
大美酒造

代表銘柄 美保鶴(みほつる)

1900年(明治33年)創業。仕込みに
最適な厳寒の地「蒜山」で、
全国名水百選に数えられる

「塩釜の冷泉」からの伏流水を使い、
酒造業を営み、110年以上の歴史と
共に歩んでいた。

❖ 蒜山耕藝

食べたいものをつくるしぜんと
食卓から生まれる風景。

藝とは語源によると、人間が植物を植え、
食べものをつくる姿。

農薬と肥料を使わず、自然のリズムと調和し
土地と季節にあったものを作ることが大前提。
それを元に食卓から作付けを考え、食べたい
ものを作る。



❖郷原漆器とは

蒜山で400年以上の歴史を持つ伝統工芸品「郷原漆器」

郷原漆器は「用の器」であり、蒜山地方のクリ材を使い、木目を大切にしながら備中漆等の天然の漆で仕上げる。

しっかりとした塗りと実用性、独特の優れた沈金技術で仕上げられている。原木を生木のままロクロで挽いて木地をつくる方法は、他の漆器産地では見られない独特の方法。



蒜山の伝統を未来につなげる

作っている人の思いを
丁寧に受け継ぎ、形にする



真庭市との打ち合わせ

「どのように形にしていくか」
という具体的な目標が見えた



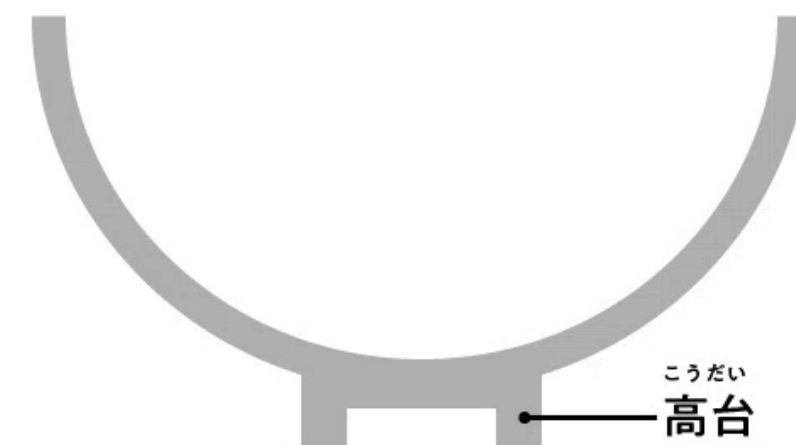
蒜山耕藝さんに提案

「高校生が甘酒に興味を
持ってくれて嬉しい」



デザイン打ち合わせ

- ・ 大きさ
- ・ 縁の反り方
- ・ 高台をつけるか





ひるこう祭

- ・ 甘酒の試飲
- ・ 質感アンケートを行う

外側は木目を活かし
内側は滑らか



9月中旬から

漆塗り開始









器を両手で包み
五感で甘酒を味わう



寄付金額

1万8千円

限定100個

なくなり次第終了

高校生の情熱が灯す郷原漆器と澄みわたる純白の甘酒

【受注生産】高校生が塗り上げた漆色の郷原漆器と純白甘酒のセット【岡山県真庭市】 / 蒜山 勝山
高校 高校生 郷原漆器 真庭 甘酒 コラボ【hzkg001-01】



寄付金額
18,000 円
以上の寄付でもらえる

感想 0件

お気に入り

📅 1週間以内に2件の寄付が入りました

数量: 1 在庫: あり

ファスト寄付で申し込む

🛒 寄付カートに入れる

＞ ファスト寄付とは？

＞ 選べる使い道

＞ お問い合わせ先

決済方法: クレジットカード ☒ コンビニ決済 ☒
郵便振替 ☒ 銀行振込 ☒

全て表示



最後に

地域の人と人をつなげる
役割があるのでは？

